

(7) 北 陸



北陸地域では、景気は回復している。

- ・ 鉱工業生産は高水準で推移している。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(_ は上方に変更、 _ は下方に変更)

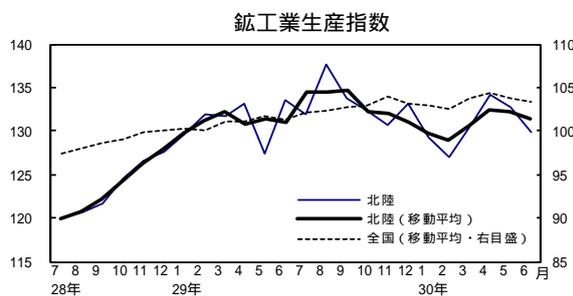
前回からの主要変更点

	前回(平成30年5月)	今回(平成30年8月)	
景況判断	緩やかに回復	回復	
鉱工業生産	高水準で推移しているものの、一服感	高水準で推移	
個人消費	持ち直しの動き	持ち直し	
住宅建設	大幅に減少	増加	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は高水準で推移している。

4 - 6月期には、電子部品・デバイスは、自動車向け電子部品は好調だったものの、新型スマートフォンの端境期で、減少した。化学は、医薬品が増加した。はん用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置等が好調なため、増加した。繊維は、増加した。金属製品は、増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
電子部品・デバイス	20.8	1.7	4.2	1.1	5.4	1.9
化学	13.5	0.2	10.8	12.7	0.4	3.5
はん用・生産・業務用機械	12.7	0.8	6.8	9.2	3.6	6.1
繊維	8.4	3.3	2.3	3.4	2.5	1.2
金属製品	6.0	6.1	5.0	0.9	3.5	4.4
鉱工業	100.0	2.3	2.6	2.8	1.0	2.2

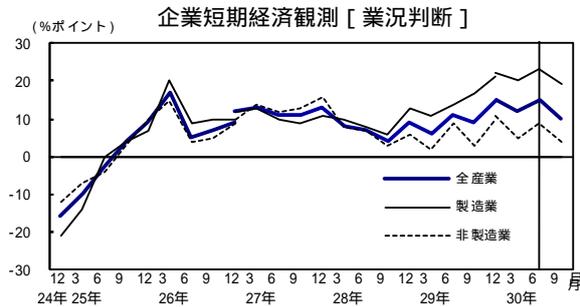
(備考) 1. 22年=100、季節調整値、北陸の最新月は速報値。
2. 全国及び北陸の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 4 - 6月期、6月は速報値。

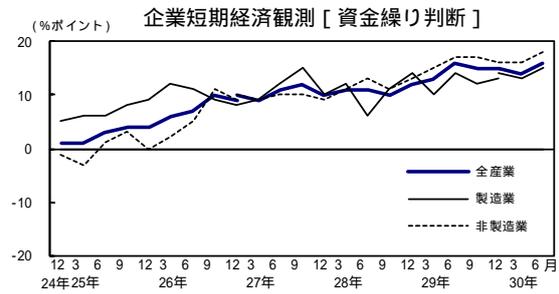
(7) 北陸

(2) 日銀短観における業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ拡大している。

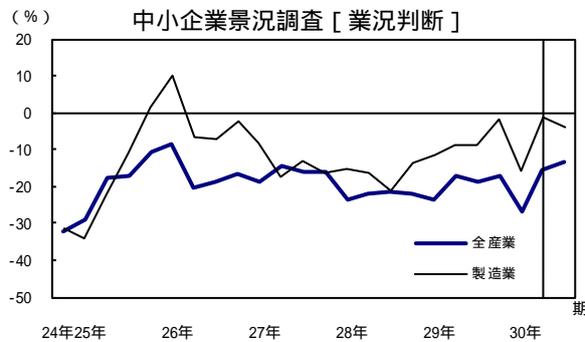
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。30年9月は予測。
26年12月及び29年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月及び29年12月は新・旧基準を併記。

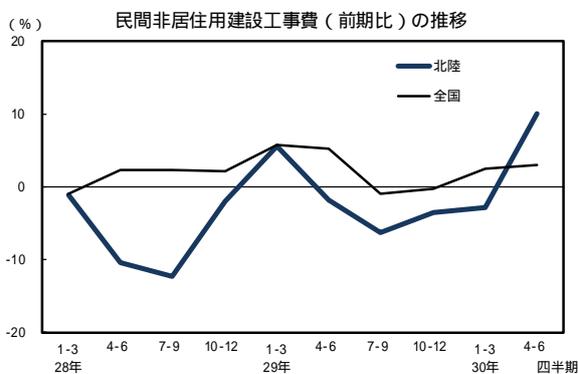


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。30年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「非衣料関係については非常に安定している。衣料関係については、ファッション性のあるレディース向けは非常に苦戦しているが、実用衣料は非常に順調である。その他にも、ユニフォーム衣料が良くなっている(繊維工業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に増加している。



(備考) 1. 季節調整値。

2. 30年4-6月期は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

企業短期経済観測調査 [設備投資(6月調査)]

(前年度比、%)

	29年度実績	30年度見極
全産業	18.1(3.9)	9.6(0.8)
製造業	28.8(1.3)	9.6(8.9)
非製造業	4.7(8.0)	9.7(14.9)

(備考)()は前回(3月)調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直している。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

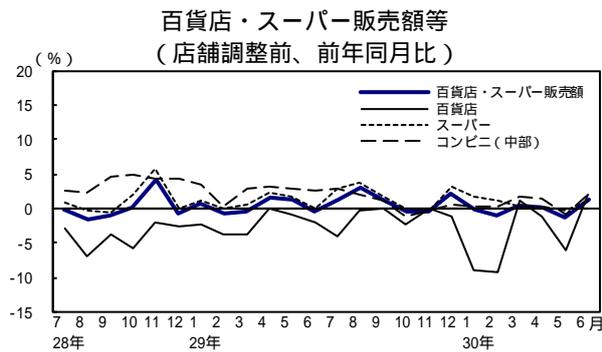
4月は前月比3.1%増、5月は同1.7%減、6月は同1.3%増となった。

百貨店・スーパー販売額

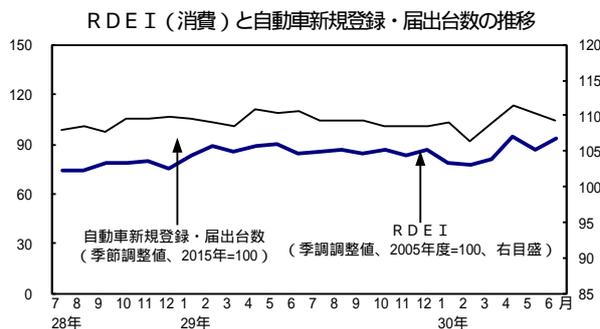
4月は、衣料品が振るわなかったものの、飲食料品を中心に堅調に推移したことから、前年を上回った。5月は、飲食料品は堅調な動きが続いているものの、天候の影響などにより衣料品を中心に振るわなかったことから、前年を下回った。6月は、飲食料品や高額品などに好調な動きがみられたことなどから、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「今月は特に猛暑の影響で、来客数は微減が続いている。一方で、客単価の増加が大きく、販売量としては好調に推移している。特に内容としては、1人当たりの飲み物を買う量が増えている。また、氷やアイスなど冷たいものを買う客も多くみられる。冷やし麺などもそうである (コンビニ)」など「やや良くなっている」とする回答が増加した。



	30年4-6月	30年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	2.8	3.1	1.7	1.3
百貨店・スーパー(*2)	0.0	0.1	1.4	1.3
百貨店(*2)	1.8	1.2	6.1	1.9
スーパー(*2)	0.4	0.4	0.3	1.2
コンビニ(*2)	0.9	1.4	1.0	2.1
乗用車(*3)	1.2	3.8	0.0	5.9
(季節調整値)(*3)	9.2	9.9	4.4	4.0



(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

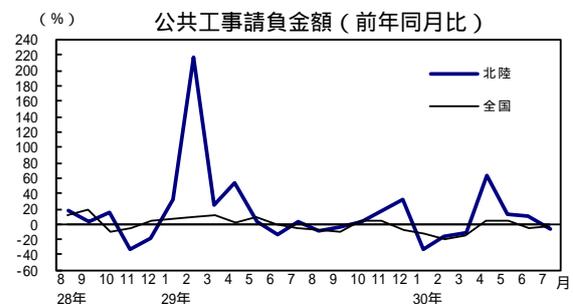
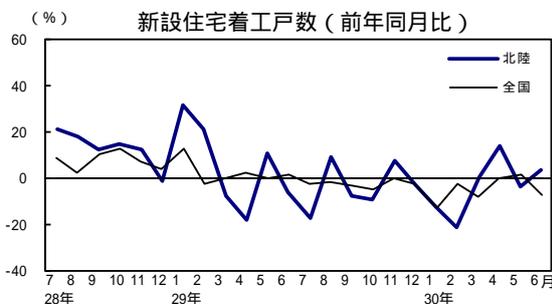
コンビニは、経済産業省の中部(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

(2) 住宅建設は前年に比べて増加している。

貸家が前年を上回ったことから、増加している。

(3) 公共投資は30年度累計で見ると前年度を上回っている。



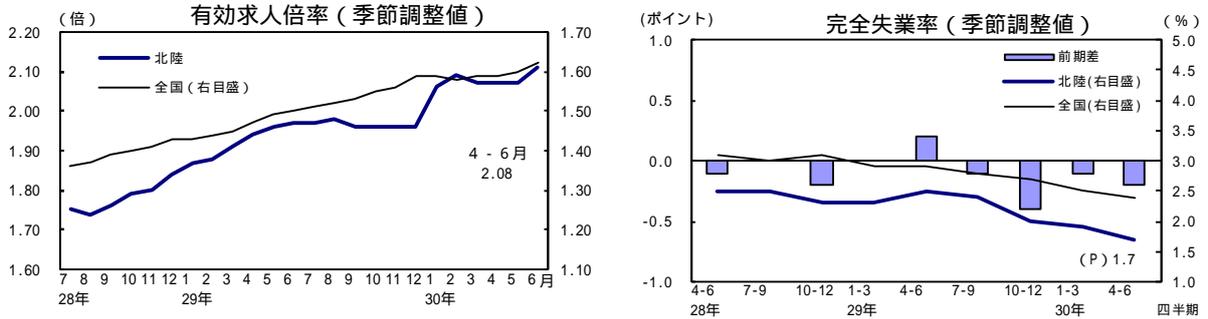
(7) 北陸

3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。
2. 4 - 6月期の値は暫定値。

景気ウォッチャー調査 (7月調査結果)[雇用関連(現状)]

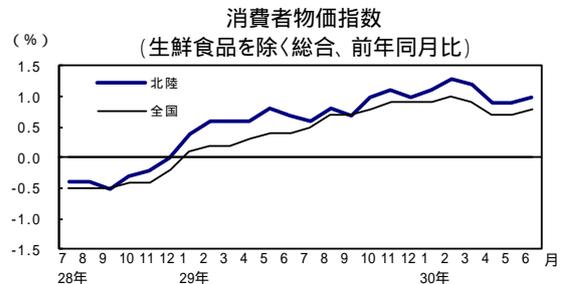
「6月の新規求人数は全数において4,377人と、前年同月比で8.5%の減少となっている。フルタイムでは7.4%の減少、パートタイムでは9.8%の減少で、共に減少となっている。これを産業別にみると、建設業と製造業と複合サービス業では大きく増加しているが、飲食サービス業、生活関連サービス業、医療福祉業、サービス業で大きく減少している(職業安定所)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は前年に比べて件数は減少、負債総額はおおむね横ばいとなっている。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が縮小している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	29年7-9月	10-12月	30年1-3月	4-6月	30年7月
倒産件数	44	44	47	39	19
(前年比)	4.3	4.8	13.0	9.3	11.8
負債総額	65	46	47	39	12
(前年比)	7.5	8.6	66.5	0.3	104.7



(備考) 北陸は内閣府にて算出。

景気ウォッチャー調査 (季節調整値)

